

学校の教育活動から

○自らを表現するハッピーコンサート！

21日(土)の学習参観、及びハッピーコンサートのご参観、誠にありがとうございました。“学習参観では子ども達が一生懸命に学んでいる姿”を“ハッピーコンサートでは子ども達が生き生きと表現している姿”をご覧いただけたかと思います。

特に今回、初めて公開授業後にハッピーコンサートを催し、当日たくさんの方の保護者の皆様に観ていただきましたが、いかがでしたでしょうか？このコンサートの参加者は、自ら「コンサートに出たい！」という気持ちで応募した子たちです。“ずっと練習していることを発表した子”“習いたてだけれど頑張って発表した子”“友達と楽しみながら発表した子”など様々でしたが、自らこうした場に応募しようとする意欲と、大勢の人の前で発表した経験は、子ども達の貴重な財産になったことと思います。



感じたことから

○「やればできる」の一つの解釈として

「やればできる」という言葉を聞いて、中には次のように感じる人もいないのでしょうか？

『これって、何か成功した人が言える言葉だね』

『もっとがんばれ、気を抜くなって、言われている感じがする』

『頑張ったって、できないことだってあるんだよ』

確かにこのように思うのも分かるような気がします。それは、この言葉を「やれば（必ず成功）できる」ととらえているからではないでしょうか。しかし、『何事もそう上手くはいかないよ』と思ってしまいがちです。そこで、この言葉を私なりにですが、次のように解釈するのもいいのかな、と思っています。それは、「やれば（必ず成長）できる」というものです。もちろん、何か事を起こさないとか～やらないとか～成功は手に入らないのですが、例えば「成功」を手に入れることができなくても、必ず個人の「成長」は手に入るものだと思います。

今回、「ハッピーコンサート」に自ら応募し、多くの方々の前で自分を表現した経験は必ず子ども達の「成長」につながるものだったと思います。子ども達には、これからは是非「やれば（必ず成長）できる」という気持ちをもって、いろいろなことにチャレンジしてほしいものです。

学校の教育活動から

○ある早朝の行動

16日(月)の早朝のことです。早めに登校していた2年生のA君、A君、H君、Y君、I君が、教室横のベランダ付近で何か一生懸命に働いていました。実はその日、とても強い風が吹き、皆が大事に育てているミニトマトの鉢が倒れ、支柱は外れ、水やり用のボトルは遠くまで転がってしまっていました。それを前述の子たちは、自分たちの判断で風が当たらない軒下まで抱えて運び、支柱を組み直し、ペットボトルも蓋をそろえて整えていました。さらに、倒れていた畑のキュウリの支柱も一生懸命に元に戻そうとしていました。



この子たちは、みんながとても大切に育て、生長を楽しみにしているミニトマトやキュウリが倒れている様子がいたたまれなかったのでしょう。素晴らしい姿に頭が下がる思いでした。

感じたことから

○目に見える優しい心

東日本大震災の後、ACジャパンのCMで、宮澤章二さんの詩の一部が流れました。

「あなたの“こころ”はどんな形ですか？」と、人に聞かれても答えようがない。自分にも他人にも“こころ”はだれにも見えない けれど、本当に見えないのであろうか…

確かに“こころ”はだれにも見えない けれど “こころづかい”は見えるのだ…略…
胸の中の“思い”は見えない けれど “思いやり”だれにでも見える…略…

子ども達の“こころ”の中には、優しさがいっぱい詰まっていることなのでしょう。しかし、黙っていたり、じっとしていたりしては、その優しさが他人に見えることも伝わることもありません。周囲の目が気になることもあるでしょうが、相手の辛い思いを感じ取り、言葉や行動に移していけると“こころ”の中の優しさは真っすぐに相手に伝わり、その人の苦しさや辛さは緩和されることなのでしょう。

上記の2年生の子ども達の姿は、まさしく東日本大震災の際に多くの方々が言葉や行動で表した“こころづかい”や“思いやり”に通じるところがあるように思いました。

